

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	社会学部
<b>大項目</b>	<b>6 教育内容・方法・成果</b>
<b>中項目</b>	<b>6.3 教育方法</b>
<b>小項目</b>	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
<b>要素</b>	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
<b>小項目</b>	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
<b>要素</b>	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
<b>小項目</b>	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
<b>要素</b>	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
<b>小項目</b>	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
<b>要素</b>	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

## ○2009年度からの目標

1. 3年次および4年次生における履修単位数上限を50単位未満とする
2. 教員・学生間の学習上の双方向性を向上させる
3. 到達目標および科目相互の関連性に配慮したシラバスを作成する
4. 多面的な評価方法に基づく明確な評価基準を導入する
5. 少人数教育を徹底する

## ○指標

1. 3年次および4年次生における履修単位数上限
2. ミニッツ・ペーパー、小テストなどの利用数及びフィードバック状況、学生による授業評価など
3. シラバスにおいて到達目標および科目相互の関連性を明示している授業数
4. 多面的な評価方法と明確な評価基準を導入している授業数
5. 基礎演習・インターメディエイト演習などの演習クラス定員減員（20名以下）